



## 高校の先生の話

先日、ある研修会で諫早市内の高校の先生の話聞く機会がありました。話をされたのはお二人だったのですが、内容に共通することが多かったのが印象的でした。それは、高校に入って以降に必要になってくることについてです。その必要になってくることとは・・・

- ・あいさつをする ・時間を守る ・話が聞ける ・ルールを守れる
- ・返事ができる ・生活リズムを乱さない ・身だしなみが整えられる
- ・人とのコミュニケーションが取れる ・読み書きができる
- ・計画的に物事が進められる ・記憶 ・処理速度

というようなことでした。

学級担任時代に、子どもたちに「1日1時間頑張れば、100日後に100時間の積み重ねができるけど、何もせずに100日後に100時間の頑張りは無理（1日はどうあがいても24時間）だし、100時間を数日で取り戻すには、不眠不休で4日と4時間やらないといけなくなる。少しずつの積み重ねが一番自分の力になる」という趣旨の話をしていました。

「高校なんて、まだ先の話」と思っているうちに、その時はやってきます。必要な力は、いきなり身につきません。少しずつの積み重ねを怠らないことや今のうちに修正が必要なことに正対することは、子どもたちにとって大切なことだと思いますが、いかがでしょうか。